

平成26年度
埼玉県博物館連絡協議会
総会・見学会

資 料

日時：平成26年4月24日（木）
会場：埼玉県立歴史と民俗の博物館

平成26年度 埼玉県博物館連絡協議会 総会・見学会 次第

日 時 : 平成26年4月24日(木) 13:00~16:00
会 場 : 埼玉県立歴史と民俗の博物館 講堂

第1部 13:00~13:10

- 1 開 会
- 2 日程説明
- 3 役員改選 【資料1】

第2部 13:40~15:00

- 1 会長・副会長・監事の承認
- 2 会長挨拶
- 3 議 事
 - (1) 議長選出
 - (2) 平成25年度 事業報告について 【資料2】
 - (3) 平成25年度 決算報告について 【資料3】
 - (4) 平成26年度 事業計画(案)について 【資料4】
 - (5) 平成26年度 予算(案)について 【資料5】
 - (6) 埼玉県博物館連絡協議会会則の改正について 【資料6】
 - (7) チーフ館会議およびIT運営委員会の設置要綱について 【資料7】
- 4 報 告
 - (1) 退会館及び新規入会館について 【資料8】
 - (2) 平成25年度 各地域活動報告について 【資料9】
 - ・南部地域活動報告 埼玉県立文書館
 - ・西部地域活動報告 川越市立博物館
 - ・東・北部地域活動報告 八潮市立資料館
 - ・秩父地域活動報告 埼玉県立自然の博物館
 - (3) 平成25年度 各会議の活動報告について 【資料10】
 - (4) その他
- 5 見学会 特別展「屋根裏部屋の博物館」 15:00~

平成 26・27 年度埼玉県博物館連絡協議会役員（案）

(◎印は会長、○印は副会長、◆印は監事)

南 部	埼玉県立歴史と民俗の博物館	(館長： 牧 恒男)
南 部	川口市立アートギャラリー・アトリア	(館長： 山下 浩文)
南 部	(公財) 学校給食歴史館	(理事長：板倉 克己)
西 部	埼玉県立嵐山史跡の博物館	(館長： 書上 元博)
西 部	坂戸市立歴史民俗資料館	(館長： 加藤 恭朗)
西 部	三芳町立歴史民俗資料館	(館長： 鈴木 義雄)
西 部	吉見町埋蔵文化財センター	(教育長：久保田幸夫)
東・北部	行田市郷土博物館	(館長： 高橋 秀男)
東・北部	八潮市立資料館	(館長： 鈴木 博)
秩 父	やまとーあーとみゅーじあむ	(館長： 富田 孝)

平成 26・27 年度 各地域チーフ館園

南 部	埼玉県立近代美術館
西 部	川越市立博物館（25・26 年度）
東・北部	埼玉県立さきたま史跡の博物館
秩父地域	埼玉県立自然の博物館

平成 26 年度 事務局

事務局長	杉山 正司（埼玉県立歴史と民俗の博物館副館長）
事務局次長	川上由美子（埼玉県立歴史と民俗の博物館主席学芸主幹）
幹 事	内田 幸彦（埼玉県立歴史と民俗の博物館主任学芸員）
幹 事	浦木 賢治（埼玉県立歴史と民俗の博物館学芸員）
幹 事	小林 剛（埼玉県立歴史と民俗の博物館主事）

平成25年度 事業報告

事業	日時・会場	事業内容
役員会	4月25日(木) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・平成24年度事業報告・決算報告 ・平成25年度事業計画(案)・予算(案)の審議・承認 ・その他
	3月18日(火) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・平成25年度事業報告(案)・決算報告(案)の審議・承認 ・平成26年度事業計画(案)・予算(案)の審議・承認 ・その他
総会	4月25日(木)(47人) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・平成24年度事業報告・決算報告 ・平成25年度事業計画(案)・予算(案)の審議・承認
チーフ館会議	6月28日(金)・2月25日(火) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・各地域の活動状況の報告と問題点について ・埼博連の加盟促進について
研究会	7月24日(水)(18人) 岩槻区役所(ワッツ東館)	・講演「(仮称)岩槻人形会館の概要と西澤笛畝コレクションについて」 講師：菅原 千華 氏 (仮称)岩槻人形会館 開設準備室 学芸員
	11月21日(木)(58人) ※文化財保護協会との共催 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・講演「昭和日常博物館の試みー懐かしさのチカラを活用する」 講師：市橋 芳則 氏 (北名古屋市歴史民俗資料館 昭和日常博物館 館長)
資料保存研修会 (文化財レスキュー・防災研修会)	2月12日(水)(46人) ※文保協・埼史協との共催 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・講演「埋蔵文化財保存施設における被害および救済時の記録作成」および実習 講師：青木 繁夫 氏 (サイバー大学世界遺産学部教授、東京文化財研究所名誉研究員)
見学会	4月25日(木)(47人) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・特別展「発掘された木の道具」見学
	7月24日(水)(18人) 岩槻方面	・東玉・人形の博物館 見学 ・鈴木酒造株式会社 酒蔵資料館 見学 ・遷喬館 見学
	11月21日(木)(58人) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・特別展「狩野派と橋本雅邦ーそして、近代日本画へ」見学
県外研修会	9月26日(木)(36人) 群馬県方面	・富岡製糸場 ・群馬県立自然史博物館 講師：学芸係長 金井 英男 氏 ・富岡市立美術博物館 講師：館長 染谷 滋 氏
ブロック会議	随時	・各地域ブロックチーフ館が主催運営
IT運営委員会	10月4日(金)・2月6日(木) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・埼玉県博物館連絡協議会ホームページの運営、ホームページ内容の充実化
加盟館園職員名簿	6月13日(木)発行	・加盟館園職員名簿のデジタルデータを作成し配布
埼博連加盟館マップ	8月20日(火)発行	・平成24年度に発行した埼玉県博物館連絡協議会加盟各館園の所在地および概要を紹介したパンフレットを、加筆修正し増刷・配布
緊急時相互支援検討委員会	12月6日(金) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・緊急時相互支援検討委員会の今後の活動について ・災害時の危機管理や資料のレスキュー、それにかかる予算などについて

平成25年度 埼玉県博物館連絡協議会 決算報告

(収入の部)

(単位:円)(下段のかっこはH24年度)

項目	予算額	収入額	比較増減額	備考
会費	940,000 (930,000)	944,000 (930,000)	4,000 (0)	21,000 × 14 館 = 294,000 14,000 × 15 館 = 210,000 10,000 × 44 館 = 440,000 免除 × 1 館 = 0
参加費	30,000 (30,000)	62,000 (40,300)	32,000 (10,300)	1,000 × 23 人 = 23,000 3,000 × 13 人 = 39,000
雑収入	63 (63)	104 (87)	41 (24)	預金利子 104
繰越金	464,832 (443,137)	464,832 (443,137)	0 (0)	平成24年度より繰越
計	1,434,895 (1,403,200)	1,470,936 (1,413,524)	36,041 (10,324)	

(支出の部)

(単位:円)(下段のかっこはH24年度)

項目	予算額	支出額	執行残	備考
旅費	20,000 (20,000)	4,400 (0)	15,600 (20,000)	
事務費	206,000 (126,000)	159,487 (79,795)	46,513 (46,205)	通信運搬費 20,240 消耗品費 4,725 電話回線使用料 47,050 サーバーレンタル料 7,572 パソコン機材等買取料 79,900
事業費	742,000 (959,000)	666,979 (808,897)	75,021 (150,103)	県外研修会費 150,270 地域別連絡協議会費 222,000 研究会費 5,633 緊急時相互支援検討委員会 38,776 埼玉連MAP印刷代金 250,300
報償費	90,000 (90,000)	50,000 (60,000)	40,000 (30,000)	講師謝金 50,000
予備費	376,895 (208,200)	0 (0)	376,895 (208,200)	
計	1,434,895 (1,403,200)	880,866 (948,692)	554,029 (454,508)	

(収支の部)

(単位:円)(下段のかっこはH24年度)

収入済額	1,470,936 (1,413,524)	
支出済額	880,866 (948,692)	
差引残額	590,070 (464,832)	(次年度へ繰り越し額)

監査報告

上記のとおり相違ありません

平成 26 年 4 月 17 日

坪田 幹男



平成 26 年 4 月 17 日

下田 正幸



平成26年度 事業計画（案）

事業	日時・会場	事業内容
役員会	4月24日(木) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・平成25年度事業報告・決算報告 ・平成26年度事業計画(案)・予算(案)の審議・承認 ・その他
	3月中旬 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・平成26年度事業報告(案)・決算報告(案)の審議・承認 ・平成27年度事業計画(案)・予算(案)の審議・承認 ・その他
総会	4月24日(木) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・平成25年度事業報告・決算報告 ・平成26年度事業計画(案)・予算(案)の審議・承認
地域チーフ館会議	6月下旬・2月下旬 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・各地域の活動状況の報告と問題点について ・埼玉博連の加盟促進について
研究会	7月下旬 未定	・演題、講師未定
	11月下旬 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・演題、講師未定
資料保存研修会 (文化財レスキュー・防災研修会)	2月中旬 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・演題、講師未定
見学会	4月24日(木) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・特別展「屋根裏部屋の博物館—Attic Museum—」見学
	7月下旬 未定	(前期研究会会場館の展覧会にあわせて)
	11月下旬 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・特別展見学
県外研修会	9月下旬	・会場未定(案:栃木県方面)
地域会議	随時	・各地域チーフ館が主催運営
IT運営委員会	随時 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・埼玉県博物館連絡協議会ホームページの運営、ホームページ内容の充実化
加盟館園職員名簿	6月下旬発行	・加盟館園職員名簿のデジタルデータを作成し配布
埼玉博連加盟館マップ	8月下旬発行	・埼玉県博物館連絡協議会加盟各館園の所在地および概要を紹介したパンフレットを印刷、配布
緊急時相互支援 検討委員会	6月上旬・12月上旬 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・緊急時対応者名簿等の作成について ・博物館資料情報の共有化

【資料5】

平成26年度 埼玉県博物館連絡協議会予算 予算(案)

(収入の部)

(単位:円)

項目	H25予算額	H25決算	H26予算額	比較増減額	備考(右かっこ内はH25予算)
会費	940,000	944,000	974,000	34,000	21,000 × 14 館 = 294,000 (294,000) 14,000 × 15 館 = 210,000 (196,000) 10,000 × 47 館 = 470,000 (450,000)
参加費	30,000	62,000	30,000	0	会員@1,000: 非会員@3,000
雑収入	63	104	104	41	預金利子
繰越金	464,832	464,832	590,070	125,238	
計	1,434,895	1,470,936	1,594,174	159,279	

(支出の部)

(単位:円)

項目	H25予算額	H25決算	H26予算額	比較増減額	備考(右かっこ内はH25予算)
旅費	20,000	4,400	20,000	0	役員・委員 旅費 20,000 (20,000)
事務費	206,000	159,487	97,000	△ 109,000	通信運搬費 20,000 (50,000) 消耗品費 20,000 (20,000) インターネット回線使用料 47,000 (46,000) サーバーレンタル料 10,000 (10,000)
事業費	742,000	666,979	888,000	146,000	県外研修会費 150,000 (150,000) 地域別連絡協議会費 228,000 (222,000) 研究会費 10,000 (10,000) 緊急時相互支援検討委員会 100,000 (100,000) 広報イベント費 400,000 (260,000)
報償費	90,000	50,000	90,000	0	講師謝金 90,000 (90,000)
予備費	376,895	0	499,174	122,279	
計	1,434,895	880,866	1,594,174	159,279	

○事務局予算案の内容

・会費収入比較増減内訳				
獅子博物館	退会	△10,000円	任意退会	
大鳳会館	退会	0円	閉館	
所沢郷土美術館	入会	10,000円	新規入会	
深沢七郎文学記念館	入会	10,000円	新規入会	
日本万華鏡博物館	入会	10,000円	新規入会	
草加市歴史民俗資料館	入会	10,000円	新規入会	
・地域別連絡協議会費		228,000円	【内訳】76館×3,000円とします	
・緊急時相互支援検討委員会		100,000円	【内訳】消耗品購入及び文化財レスキューに関する研修費	
・広報イベント費内訳				
埼玉博連加盟館マップ作成(40周年仕様)		400,000円	【内訳】76館×120部+予備880部=10000部(発送費込)	

埼玉県博物館連絡協議会会則

(名称)

第一条 本会は、埼玉県博物館連絡協議会と称する。

(所在)

第二条 本会は、事務局を会長の所属する博物館（類似の施設を含む。以下同じ。）に置く。

(目的)

第三条 本会は、各博物館相互の連携を緊密にし、博物館事業の振興を図ることを目的とする。

(事業)

第四条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 一 地域別連絡協議会の開催
- 二 研究会・研修会・視察などの開催
- 三 情報の交換
- 四 会誌・研究物の刊行
- 五 その他必要な事業

(会員及び会費)

第五条 本会は、埼玉県内の博物館を会員として組織し、会員は、次項に定める会費を毎年度納入するものとする。

2 会費は、毎年度4月1日現在のそれぞれの博物館の職員数に応じて、次の各号に定める額とする。ただし、この規定により難しい場合は、一会員10,000円とする。

- | | | |
|---|-----------|---------|
| 一 | 1人から 5人まで | 10,000円 |
| 二 | 6人から10人まで | 14,000円 |
| 三 | 11人以上 | 21,000円 |

(役員)

第六条 本会に、次の役員を置く。

- | | | |
|---|-----|-----|
| 一 | 会長 | 1名 |
| 二 | 副会長 | 2名 |
| 三 | 理事 | 若干名 |
| 四 | 監事 | 2名 |

(役員の仕事)

第七条 役員の仕事は、次のとおりとする。

- 一 会長は、本会を代表し、会務を総理する。
- 二 副会長は、会長を助け、会長に事故あるときは、その仕事を代行する。
- 三 理事は、会長及び副会長とともに役員会を組織し、会務を整理する。
- 四 監事は、会計を監査する。

(役員を選出)

第八条 役員を選出は、次のとおりとする。

- 一 会長及び副会長は、理事が互選し、総会で承認する。
- 二 理事は、県立、市町村立、法人及び私立からそれぞれ選出し、総会で承認する。
- 三 監事は、役員会で推薦し、総会で承認する。

(役員の仕事)

第九条 役員の仕事は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(顧問)

第十条 本会に、顧問を置くことができる。ただし、任期は2年とする。

2分の1以上の出席（委任状を含む）をもって成立する。

（会議）

第十一条 本会の会議は、総会及び役員会とする。また、必要に応じて委員会等を置くことができる。（下線部追加）

2 会議は、会員の過半数が出席しなければ、~~これを開き議決することができない。~~

3 議事は、出席会員の過半数により決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（総会）

第十二条 総会は、年1回開催するものとする。ただし、会長が必要と認めたとき又は会員の3分の1以上の要求があったときは、臨時に総会を開くことができる。

2 総会は、次の事項を審議する。

- 一 会則の改正
- 二 事業計画及び予算
- 三 事業報告及び決算
- 四 役員を選任
- 五 その他重要な事項

（役員会）

第十三条 役員会は、会長が必要と認めたときに開き、次の事項を審議する。

- 一 総会への提案事項
- 二 その他必要な事項

（表彰等）

第十四条 本会（加盟の館及び園を含む。）の振興に著しい功績があった場合又は本会の事業推進に積極的な協力があった場合は、その都度、役員会の承認を得て、これを表彰し、又は感謝の意を表することができる。

（経費）

第十五条 本会の経費は、会費、補助金、寄付金、その他の収入をもって充てる。

（会計年度）

第十六条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 総会前の事業及び予算の必要な範囲の執行については、会長の専決により行うことができる。

（事務局）

第十七条 本会の会務を処理するため、事務局に次の職員を置く。

- 一 事務局長 1名
- 二 事務局次長 1名
- 三 幹事 若干名

（細則）

第十八条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に必要な事項は別に定める。

付 則

この会則は、昭和49年10月30日から施行する。

平成7年4月28日一部改正

平成11年4月28日一部改正

平成17年5月19日一部改正

平成18年5月31日一部改正

(案)

委任状

平成 年 月 日開催の 年度埼玉県博物館連絡協議会総会を欠席いたします。
ついては、総会議決に関する権限を議長へ一任いたします。

博物館名

代表者職・氏名

印

埼玉県博物館連絡協議会地域連絡会議（チーフ館会議）設置要綱（案）

1 名称

本会議は、埼玉県博物館連絡協議会地域連絡会議（以下「チーフ館会議」という）と称する。

2 設置目的

チーフ館会議は、埼玉県博物館連絡協議会（以下「協議会」という）加盟館園の地域別活動の促進と地域間相互の協力や情報交換、地域に根差した加盟促進活動等に資することを目的とする。

3 活動内容

- (1) 地域別活動の計画・調整に関する事。
- (2) 地域別活動の報告に関する事。
- (3) 地域ごとに実施する加盟促進活動に関する事

4 組織構成

- (1) 各地域加盟館園の互選により、代表館（チーフ館）を選出する。
- (2) チーフ館は、チーフ館会議に出席する職員1名を委員として指名する。
- (3) チーフ館会議は、各チーフ館から指名された委員及び協議会事務局次長で構成する。
- (4) 委員長は協議会事務局次長をもってあて、チーフ館会議を統括する。
- (5) 本会議の事務局は、埼玉県立歴史と民俗の博物館に置く。

5 会議

会議は委員長が招集し、必要に応じて他機関等からの協力を得ることができる。

6 任期

委員の任期は2年とするが、再任することができる。

7 その他

本要綱に定めるもののほか、必要な事項については、会長の承認を得てチーフ館会議が定める。

（施行）

平成26年 月 日

別紙

平成26年度及び27年度 各地域チーフ館園

(1) 南部地域

埼玉県立近代美術館

(2) 西部地域

川越市立博物館（平成25年度及び平成26年度）

(3) 東・北部地域

埼玉県立さきたま史跡の博物館

(4) 秩父地域

埼玉県立自然の博物館

埼玉県博物館連絡協議会 I T 運営委員会設置要綱（案）

1 名称

この委員会は、埼玉県博物館連絡協議会 I T 運営委員会（以下「委員会」という）と称する。

2 設置目的

委員会は、埼玉県博物館連絡協議会（以下「協議会」という）ホームページの運営及び I T の活用にかかる事項について協議し、必要な作業を行うものとする。

3 運営体制

委員会は協議会会長の承認を得て運営し、検討結果等は協議会総会及び役員会で報告する。

4 組織構成

委員会は各地域から選出された委員及び協議会事務局次長で構成する。

委員による互選によって委員長を選出し、委員長は委員会を統括する。委員会は委員長が招集し、必要に応じて他機関等からの協力を得ることができる。

5 任期

委員の任期は 2 年とするが、再任することができる。

6 活動内容

- (1) ホームページ掲載事項の検討及び作成に関する事
- (2) ホームページの保守管理に関する事
- (3) その他ホームページ及び I T に関する事

7 その他

本要綱に定めるもののほか、必要な事項については、協議会会長の承認を得て委員会が定める。

(施行)

平成 26 年 月 日

別紙

平成26年度及び27年度IT運営委員

- ①さいたま市立博物館
- ②川越市立美術館
- ③富士見市立難波田城資料館
- ④行田市郷土博物館
- ⑤県立自然の博物館
- ⑥県立歴史と民俗の博物館

退会館及び新規入会館について

1. 退会館について

(1) 「獅子博物館」 (白岡市小久喜 1262-8)

平成 26 年 2 月 7 日付けで退会届が提出され、平成 26 年 3 月 31 日の退会として受理した。

(2) 「大凧会館」 (春日部市西宝珠花 637)

平成 26 年 3 月 20 日付けで退会届が提出され、平成 26 年 3 月 31 日の退会として受理した。

2. 新規入会館について

(1) 「所沢郷土美術館」 (平成 26 年度入会)

平成 26 年 3 月 18 日付けで入会届が提出され、平成 26 年 4 月 1 日からの入会として受理した。

<概要>

住所：埼玉県所沢市久本 1 4 4 7 - 1

TEL：04-2922-2965

館長：平塚宗臣 氏

開館：10:00～17:00 (4月～11月のみ開館) 休館日：日曜日・祝日

概要：川越藩侍医を務めた平塚家の住宅を利用した美術館。郷土の芸術家を中心に
展覧会を開催 (以上、HPを参照)。

(2) 「深沢七郎文学記念館」 (平成 26 年度入会)

平成 26 年 3 月 22 日付けで入会届が提出され、平成 26 年 4 月 1 日からの入会として受理した。

<概要>

住所：埼玉県加須市上崎 2 5 6 2 - 5

TEL：0480-73-6219

館長：森田 進 氏

開館：9:00～17:00

休館日：火曜日 (祝日の場合は翌日)、8月13日～16日、12月29日～1月5日

概要：文学者深沢七郎の作品と関連する書物を展示 (以上、HPを参照)。

(3)「日本万華鏡博物館」 (平成26年度入会)

平成26年3月26日付けで入会届が提出され、平成26年4月1日からの入会として受理した。

<概要>

住所：埼玉県川口市幸町2-1-18-101

TEL：048-255-2422

館長：大熊進一氏

開館：10:00～(予約優先、入館は18:00まで。日曜祝日は予約のみ開館)

休館日：不定休(日曜日・祝日は休館だが、開館する場合も有)

概要：1998年に渋谷区に開館、2012年9月に川口に移設オープンした万華鏡専門の博物館。「見るコース」と「作るコース」があり、毎正時ごとに予約可。
(以上、HPを参照)

(4)「草加市歴史民俗資料館」 (平成26年度入会)

平成26年4月14日付けで入会届が提出され、平成26年4月15日からの入会として受理した。

<概要>

住所：埼玉県草加市住吉1-11-29

TEL：048-922-0402

館長：細川昭二氏

開館：9:00～16:30

休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12月29日～1月3日)

概要：埼玉県初の鉄筋コンクリート造校舎であった草加市小学校校舎を再利用した資料館。郷土の歴史資料や民俗資料の展示の他、鉄筋校舎設計のパイオニア・大川勇氏のコーナー、郷土の作家・豊田三郎氏及び森村桂氏のコーナー、松尾芭蕉コーナーを設置(以上、HPを参照)。

平成25年度 南部地域 活動報告

(チーフ館：県立文書館)

1 会議

名称	開催月日(曜日)	議題	備考(会場等)
南部地域加盟館園 長会議	3月7日(金)	①平成25年度事業報告及び決算報告 ②平成26年度事業計画案審議 ③平成26年度役割分担について	埼玉県立文書館

2 活動・事業等

名称	概要
6月25日(火) 見学会	グリコピア・イーストと学校給食歴史館を見学(バス旅行で、20名参加)

3 その他特記すべき事項

平成26・27年度南部地域選出理事館 県立歴史と民俗の博物館、川口市立アートギャラリー・アトリア、(公財)埼玉県学校給食会 学校給食歴史館 平成26・27年度南部地域チーフ館 埼玉県立近代美術館
--

平成25年度 西部地域 活動報告

(チーフ館：川越市立博物館)

1 会議

名称	開催月日(曜日)	議題	備考(会場等)
第1回地域会議	4月24日(水)	①平成24年度事業報告及び決算報告 ②平成25年度事業計画及び予算案審議 ③平成25年度役割分担について	川越市立博物館
第2回地域会議	7月18日(木)	前期研修会	川越市立博物館
第3回地域会議	2月20日(水)	後期研修会	川越市立博物館

2 活動・事業等

名称	概要
7/18 前期研修会	<p>テーマ 危機管理研修「災害の記録活動と防災」 講師：長坂俊成氏(立教大学教授) ※東日本大震災の記録作成に際して、その活動内容やご自身の体験に基づくお話しから災害時における博物館・資料館の果たす役割などについて講義。</p>
3/18 後期研修会	<p>テーマ「子供対象事業相互支援システムの実践」 講師：天ヶ嶋岳(川越市立博物館)、田中晃(川越市立美術館) ※子供向けの体験型事業をカード化し、地域会議加盟館が共有することは、館外活動の実施の際に有効である。大人向けにも加工が容易であり、新規事業展開のためのデータベースとすることを提案。</p>

3 その他特記すべき事項

<p>西部地域館園催し物案内：3か月ごとに発行 4～6月号：担当・嵐山史跡の博物館、7～9月号：担当・埼玉伝統工芸会館、 10～12月号：担当・坂戸市立歴史民俗資料館、1～3月号：担当・狭山市立博物館</p> <p>作業部会：各館の体験学習等のデータベース化、各館紹介チラシの企画</p>
--

平成25年度 東・北部地域 活動報告

(チーフ館：八潮市立資料館)

1 会議

名称	開催月日(曜日)	議題	備考(会場等)
総会	5月23日(木)	①平成24年度事業・決算報告について ②平成25年度事業・予算案について ③ブロック加盟館園事業「スタンプラリー」について ④加盟館園25年度事業計画発表 ⑤埼玉県立さきたま史跡の博物館常設展示見学	埼玉県立さきたま史跡の博物館
地域館園研修会	2月7日(金)	①第2回スタンプラリー実施結果について ②八潮市立資料館企画展「八潮のものづくり」見学	八潮市立資料館

2 活動・事業等

名称	概要
ブロック加盟館園事業 スタンプラリー	7月20日～9月29日 東・北部ブロック加盟館園の利用促進を図るとともに、加盟館園相互の連携を密にすることを目的に実施。参加館園数は、17館（リニューアル等で休館中の館園を除く）で、ラリー完了者には記念品を贈呈。

3 その他特記すべき事項

なし

平成25年度 秩父地域 活動報告

(チーフ館：県立自然の博物館)

1 会議

名称	開催月日(曜日)	議題	備考(会場等)
第1回地域館会議	2月21日(金)	①平成25年度実施事業について ②平成26年度事業予定について ③各館の雪害状況報告	自然の博物館

2 活動・事業等

名称	概要
スタンプラリー	秩父地域加盟館9館のうち4館に入館した人に景品(オリジナルTシャツ)を差し上げる。今年は秩父札所の午歳総開帳に当たるため、博物館と札所案内をセットにした地図を作製して広報した。期間は当初3月中にスタートさせる予定だったが、5月のゴールデンウィーク明けに変更になり、終了は8月末日とした(ただし景品が無くなった時点で終了)。25・26年度継続事業として位置付けている。
2/21 見学会	第1回地域館会議終了後、自然の博物館企画展「どうなってるの?埼玉県の動植物」を見学。

3 その他特記すべき事項

2月14日から15日にかけての記録的な大雪により、積雪量は秩父市街地で98cmに達し、山間部では多数の集落が孤立した。各博物館も大きな影響を被り、武甲山資料館は9日間も休館となる。

平成26年3月31日

埼玉県博物館連絡協議会長 様

IT運営委員会

平成25年度IT運営委員会の活動について（報告）

このことについて、下記のとおり報告いたします。

記

1. 委員会の実施日時

平成25年10月4日（金）、平成26年2月6日（木）

2. 委員会の構成

委員	さいたま市立博物館	澤柳 秀実	南部地区
委員	川越市立美術館	紺野 誠	西部地区
委員	富士見市立難波田城資料館	早坂 廣人	西部地区
委員	行田市郷土博物館	澤村 怜薫	東・北部地区
委員	県立自然の博物館	大久根 茂	秩父地区
委員	県立歴史と民俗の博物館	川上 由美子	埼玉県博物館連絡協議会 事務局次長

事務局：県立歴史と民俗の博物館（企画担当：内田、財津）

3. 活動報告

- (1) 埼玉博連ホームページ内「データベースリンク集」の公開について
インターネット上に公開しているデータベースの有無について照会を行い、その結果を基にホームページ上にリンク集を公開した。（12館）
- (2) 埼玉博連ホームページ内「ブロック別活動」の掲載準備について
掲載の手順について協議し、決定した。今後、各地域で活動が行われた際は、各IT運営委員から参加者へ活動報告記事原稿の作成を依頼し、提出された記事原稿及び写真を事務局がホームページへ掲載する。
- (3) パソコンの更新及び通信回線の変更について
埼玉博連用パソコンをWindows7 LIFEBOOK（ノートパソコン）に更新すると共に、通信回線をADSLからWiMAXに変更した。

以上

平成26年3月31日

埼玉県博物館連絡協議会長 様

緊急時相互支援検討委員会委員長

平成25年度緊急時相互支援検討委員会の活動について（報告）

このことについて、下記のとおり報告いたします。

記

1 委員会の実施日時

平成25年12月6日（金） 午後2時から午後4時まで

2 委員会の構成

委員長	歴史と民俗の博物館副館長	杉崎茂樹	埼玉県博物館連絡協議会事務局長
委員	県立文書館主任学芸員	針谷浩一	南部地区
委員	毛呂山町歴史民俗資料館係長	佐藤春生	西部地区
委員	鉢形城歴史館主幹	石塚三夫	北部地区
委員	宮代町郷土資料館	横内美穂	東部地区

事務局：歴史と民俗の博物館（企画担当、資料調査活用担当）

3 報告

(1) 緊急時対応者名簿の作成について

緊急時の連絡網整備について、地域や災害の度合に応じた連絡体制について、今後検討していくこととするが、まず、緊急時に連絡に当たる担当職員を明確化しておくことが必要である。

【対応】年度ごとに作成している埼玉県博物館連絡協議会（以下埼玉博連という）加盟館園職員名簿で担当者を明らかにしておく。（別紙1）

(2) 博物館資料情報の共有化について

東日本大震災では資料情報の滅失が文化財レスキュー事業を遅延させた要因とされているので、埼玉博連加盟各館において資料情報とその所在情報を共有化しておくことが望まれる。

【対応】資料の保存・管理上差支えない範囲で事務局に提出していただき、その共有化を図る。（別紙2）

(3) 国等の災害関係研修への参加について

防災・災害・修復に関し国等で実施する講習会へ委員会メンバーが参加し、情報を収集するとともに、その成果を埼玉博連のホームページ等に掲載し、各館での情報共有を図っていくこととしたい。

(4) 緊急用梱包材等の備蓄について

実際に必要になる物品が館の性格により異なることや経年による変質、保管場所の確保等、現物での備蓄には問題があると考えられるので、対応を引き続き検討していく。

(5) 情報収集について

震災対応報告書、危機管理関係の図書、インターネット上の文献等を収集し、事務局に配備した。配備図書の内容については埼玉博連のホームページで情報提供していく予定である。

【収集図書】東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員『東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会平成23年度活動報告書』、三菱総合研究所・文部科学省生涯学習政策局『博物館における施設管理・リスクマネジメントガイドブック』等

(6) 研修会の実施について

名 称：平成25年度文化財レスキュー・防災研修会

日 時：平成26年2月12日(水) 10:00～16:00

テーマ：「埋蔵文化財保存施設における防災対策について」

(内容については別紙3参照)

共 催：埼玉県文化財保護協会、埼玉県地域史料保存活用連絡協議会

会 場：県立歴史と民俗の博物館講堂

参加人数：46名

以上

緊急時相互支援検討委員会 平成25年度委員名簿

館園名	電話	職名	氏名	地区	メールアドレス
埼玉県立歴史と民俗の博物館	048-645-8171	副館長	杉崎 茂樹	事務局館	sugisaki.shigeki@pref.saitama.lg.jp
埼玉県立文書館	048-865-0112	主任学芸員	針谷 浩一	南部	harigai.koichi@pref.saitama.lg.jp
鉢形城歴史館 (文化財保護課・直通)	048-586-0315 (048-581-5615)	主幹	石塚 三夫	北部	bh4411@town.yorii.saitama.jp
宮代町郷土資料館	0480-34-8882	主任兼学芸員	横内 美穂	東部	museum@town.miyashiro.saitama.jp
毛呂山町歴史民俗資料館	049-295-8282	係長	佐藤 春生	西部	rekisi@town.moroyama.saitama.jp

緊急時相互支援検討委員会 平成26年度委員名簿

館園名	電話	職名	氏名	地区	メールアドレス
埼玉県立歴史と民俗の博物館	048-645-8171	副館長	杉山 正司	事務局館	sugiyama.masashi@pref.saitama.lg.jp
埼玉県立文書館	048-865-0112	担当課長	前田 芳江	南部	maeda.yoshie@pref.saitama.lg.jp
鉢形城歴史館 (文化財保護課・直通)	048-586-0315 (048-581-5615)	館長	石塚 三夫	北部	bh4411@town.yorii.saitama.jp
宮代町郷土資料館	0480-34-8882	主任兼学芸員	横内 美穂	東部	museum@town.miyashiro.saitama.jp
毛呂山町歴史民俗資料館	049-295-8282	係長	佐藤 春生	西部	rekisi@town.moroyama.saitama.jp

(緊急時対応者名簿 案 : 埼博連加盟館園職員名簿の利用)

凡 例

- 1 この名簿は、埼玉県博物館連絡協議会加盟館園相互の連絡調整や情報交換を図ることを目的として作成したものである。
- 2 名簿は、館園名により50音順に並べている。
- 3 業務区分の記号は、次のとおりである。
 - 学芸員資格を有する学芸担当職員
 - △ 学芸員資格を有しない学芸担当職員
 - 学芸員資格を有する管理・庶務担当職員
 - ▲ 学芸員資格を有しない管理・庶務担当職員

追加部分→4 緊急時対応の記号は、次のとおりである。

正:各博物館の資料救出の必要が生じた時の連絡調整等の主担当となる、資料の状況を把握している職員

副:主担当を補佐することのできる職員

□□□博物館

住所：〒□□□-□□□□ 埼玉県□□□市□□□丁目□□□番□□□号					
Tel：□□□-□□□-□□□□			Fax：□□□-□□□-□□□□		
ホームページアドレス： http://www.***city.museum.html					
Eメールアドレス：***city.museum@city.***.saitama.jp					
職 名	氏 名	業務区分	専門分野	常勤・非常勤	緊急時対応
館 長		●	歴史	常勤	
副 館 長		▲		常勤	正
主任学芸員		○	考古	常勤	副
学 芸 員		○	民俗	常勤	
学 芸 員		○	考古	非常勤	
総務課長		▲		常勤	
主 査		▲		常勤	
主 事		▲		非常勤	

↑ 追加部分

埼玉博連加盟館園収蔵資料及び所在情報一覧（緊急時相互支援用）（案）

□□□□博物館

住所：〒□□□□-□□□□ 埼玉県□□□市□□□丁目□□□番□□□号				
Tel：□□□-□□□-□□□□		Fax：□□□-□□□-□□□□		
ホームページアドレス：http://www.city.museum.html				
Eメールアドレス：city.museum@city.□□□□.saitama.jp				
資料（コレクション）名	点数	概要	指定	備考
1 □□□宿場町資料	250点	□□□宿関係の文書200点及びモノ資料50点。	国 (歴史資料)	掛軸等脆弱なものあり。
2 □□□地区農村用具	180点	市低地部域の農業の特質を表す農具類。	市 (民俗資料)	金属は保存処理未処理。
3 □□□遺跡出土品	3,500点	□□低地の水場遺構出土品。漆を塗った木製品に見るべきものがある。	県 (考古資料)	木製品は保存処理済み。 漆製品は一部未処理。
4				
5				
6				
7				
【資料所在情報】				

(※要覧等で公開しているなど差支えない範囲でご提供ください。)

平成25年度文化財レスキュー・防災研修会

平成26年2月12日(水) 10時00分～16時00分

会場 埼玉県立歴史と民俗の博物館 地下講堂・講座室等

テーマ 「埋蔵文化財保存施設における防災対策について」

日程

【開会】

10:00 あいさつ 埼玉県博物館連絡協議会 銭場 正人 会長

【午前の部 講義】(会場:講堂)

10:10～10:30 趣旨説明「災害からみた文化財レスキューの意義」

松本 富雄 氏(協会理事・文化財非常災害対策委員)

10:30～10:50 報告「被災した県内文化財収蔵施設に関する事例報告」

長谷川 清一 氏(春日部市教育委員会文化財保護課主幹(学芸員))

11:00～12:00 講義「埋蔵文化財保存施設における被害および救済時の記録作成」

青木 繁夫 氏(サイバー大学世界遺産学部教授、東京文化財研究所名誉研究員)

12:00～13:00 休憩

【午後の部 実習】(会場:講座室・講堂前踊り場)

13:00～14:30 実習「被災考古遺物の整理と応急処理」

14:50～15:50 実習「発掘調査資料の整理と応急処理」

青木 繁夫 氏

野中 仁 氏(県立歴史と民俗の博物館主任学芸員)

岩本 克昌 氏(同博物館主任専門員兼学芸員)

【閉会】

16:00 あいさつ 埼玉県文化財保護協会 横川 好富 会長

埼玉県文化財保護協会

埼玉県博物館連絡協議会

埼玉県地域史料保存活用連絡協議会